

平成29年度 体力づくりアクションプラン 中学校

区名(都島区)

学校名(大阪市立淀川中学校)

校長名(二上和正)

◆平均値

	種目別平均									
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
男子	34.30	27.90	42.98	53.50	334.00	81.19	7.68	202.27	24.12	47.13
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	26.13	21.38	45.77	47.13		49.00	9.07	175.23	16.91	51.59
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

結果の概要

男子では長座体前屈と20mシャトルランで全国平均に届かなかったが、それ以外は全国や、大阪府・市の平均を上回っている。

女子では握力、立ち幅とび、ハンドボール投げで全国や大阪府・市の平均を大きく上回り結果体力合計点で男子は5.01ポイント、女子では2.03ポイント全国平均を上回る結果となった。保護者の意識や学校での部活動などと相まって非常に良い結果となっている。

これまでの成果と今後取り組むべき課題

評価(B)

もともと運動に対して思いの強い地域や保護者のもと、学校の授業時にはその時間の目標を各自に持たせ、授業の終わりには振り返りの機会を持ってきた。また部活動では、規律正しく目標をもって各顧問の熱心な指導のもと基礎体力の向上に努めた。これから的生活におけるスポーツの重要性の認識がまだまだ低いところを、今後指導の充実をはかっていく。

評価 A:達成できた B:概ね達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

◆基本的生活習慣

これまでの成果と今後取り組むべき課題

評価(B)

男子では「朝食は毎日食べますか」の問い合わせ、「食べない日が多い」や「食べないと」と答えた生徒の割合が昨年よりも増えている。また「毎日食べる」と答えた生徒の割合も増えている。取組により食育の重要性を認識した家庭が増えたものの、一方で子供に対して正しく食生活を取らせていない家庭も根強くある。

また家人の人から運動やスポーツを強く勧められる家庭が男子に多いのも特徴である。

朝食を毎日食べさせるよう保護者に啓蒙しているが、根気強くあらゆる機会を通して訴えかけていく。

◆運動・スポーツに対する意識

これまでの成果と今後取り組むべき課題

評価(B)

運動やスポーツを好きであったり大切だと思う生徒の割合が低いものの、男子では体力に自信を持っている生徒の割合が平均を上回っている。実際能力は高くその自信も持っているが、そのことの意味や重要性に気づいていないものが多いと言える。運動やスポーツの大切さや重要性を気づかせていく機会をもっと多く持っていく。

◆体力づくりのための取組内容

○体育的活動での改善点及び取組(学校行事、学年行事、部活動、PTA、地域とのかかわり等)

部活動に対する地域保護者の思いは強く、学校の指導と相まって良い状態で体力づくりが行われている。

○保健体育の授業での改善点及び取組

保健体育の授業が楽しいと答える生徒の割合が男子で大阪市平均を上回り、全国平均とほぼ同じである。また将来授業で学習した内容が役に立つと答える生徒の割合も全国をも上まわり高い。